

2010年日本平和大会実行委員会ニュース no.6

2010年日本平和大会実行委員会 東京都港区芝 1-4-9 日本平和委員会気付
TEL 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277 E-mail: info@j-peace.org 10月20日

長崎・佐賀など九州各地で実行委員会

目標の倍のチケットをおろして参加のよびかけ

長崎

開催地・長崎県実行委員会は 12 日、第 4 回事務局会議を開催し、取り組みの推進を意思統一しました。9 月 27 日の第 3 回事務局会議以降、長崎県南部地域（長崎市など）や中部地域（大村市、諫早市、島原市など）、また県団体などを訪問し、1500 枚準備した参加券のうち参加目標 700 人の倍のチケットが団体、地域に届けられました。ポスターも地域の掲示板に張り出すなど、平和大会の開催を広く知らせています。11 月中には参加費とともに参加組織をやりきろうと話合いました。

● 基地調査：全国から 800 人を受け入れる準備

会議では、本大会 1 日目の基地調査行動に全国から参加する 800 人のためのバス 20 台のガイド・車長（うち県 8 台、佐世保 12 台）養成講座もかねた学習会の日程も確認しました。学習会は、できるだけ多くの参加を保障しようと座学を 3 回、マイクロバスを出しての佐世保基地調査を 2 回予定しています。現地・佐世保実行委員会は 7 日に第 3 回実行委員会を開催し、その場を第 1 回ガイド養成講座とも位置づけて学習会を開催しています。

● 宣伝・学習・参加組織と、地域・職場実行委も取り組み推進

佐世保の第 2 回実行委員会では、宣伝行動についても話し合い、最終日に行うピースパレードのコースであるアーケード街・四ヶ町で 10、11 月にそれぞれ新婦人の定例宣伝行動にあわせて取り組むことを決めました。10 月は 18 日に実施。8 人参加し、チラシ 400 枚を配布しました。長崎地域は 18 日、実行委員会を立ち上げました。全県目標 700 人のうち 400 人は長崎市を中心にした地域からと意思統一。そのため 200 人分のバス 4 台を準備することとしました。また、県労連内実行委員会は 9 日に独自に学習会を開催し、取り組みの推進をはかっています。

少なくとも 50 人は参加しよう

佐賀

8 日、佐賀市内で 9 団体 14 人が参加して佐賀県実行委員会が結成されました。実行委員会の第 1 部は、山下千秋・日本共産党佐世保市議の「日米安保と佐世保基地」と題した講演。山下氏は、今年の平和大会はメインテーマである「核兵器も基地も軍事同盟もない平和な日本とアジアを — いま、沖縄と心ひとつに」に凝縮されていると語り、沖縄の海兵隊の強化とあわせて増強されている佐世保基地の実態をプロジェクターを使いながら説明しました。また、「湾の 80% が軍事利用されている。基地とは共存できない」ことも強調しました。第 2 部では、経過報告と今後の進め方が提案され、「20 人を目標に進めたい」（唐松地域）、「5 人以上は参加したい」（年金者組合）、「分担金 5500 円をどうするか考えていたが、500 円募金を 11 人に訴えればいいわけで、少し肩の荷が軽くなった」（新婦人）などの発言がありました。実行委員会では、少なくとも 50 人は参加しよう確認し合いました。

■ リーフ「知っていますか？ 米世界戦略の軍事拠点 佐世保基地」できました！

佐世保大会を成功させようと、ながさき平和委員会が佐世保基地リーフを作りました。A3 版フルカラー。頒価 100 円。日本平和委員会は、中央団体には 10 部以上まとまれば 1 部 80 円で普及するそうです。（送料実費）